

「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」開催要綱

1. 趣旨

全国どこにいても質の高い医療を受けることができるよう、がん診療連携拠点病院等、小児がん拠点病院等及びがんゲノム医療中核拠点病院等（以下「拠点病院等」という。）の整備が進められ、がん医療提供体制の充実が図られてきたところである。

第3期のがん対策推進基本計画（平成30年3月9日閣議決定）においては、がん医療の均てん化が必要な取組については引き続き進める一方で、がんゲノム医療、一部の放射線治療、小児がん及び希少がん患者に対する医療等については、地域の状況に十分配慮した上で、診療機能の集中、機能分担、医療機器の適正配置など、一定の集約化について議論が必要とされている。

本検討会においては、こうした課題を踏まえ、拠点病院等を中心とした、今後のがん診療提供体制のあり方について、各地域の医療提供体制の実状を踏まえ、検討することとする。

2. 検討事項

- (1) 拠点病院等の評価と指定要件の見直しについて
- (2) がん医療分野の諸課題について
- (3) その他

3. その他

- (1) 本検討会は厚生労働省健康局長が別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本検討会には、構成員の互選により座長をおき、検討会を統括する。
- (3) 本検討会には、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者等の参集を依頼することができるものとする。
- (4) 本検討会は、必要に応じ、ワーキンググループを設置できるものとし、ワーキンググループの座長は、本検討会の座長が指名する。
- (5) 本検討会は、原則として公開とする。
- (6) 本検討会の庶務は、厚生労働省健康局がん・疾病対策課が行う。
- (7) この要綱に定めるもののほか、本検討会の開催に必要な事項は、座長が健康局長と協議の上、定める。

「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」構成員名簿

- 天野 慎介 一般社団法人全国がん患者団体連合会 理事長
- 泉 並木 一般社団法人日本病院会 副会長
- 川上 純一 公益社団法人日本薬剤師会 副会長
- 茂松 茂人 公益社団法人日本医師会 副会長
- 藤 也寸志 独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 院長
- 土岐 祐一郎 国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科外科系臨床医学専攻・
外科学講座消化器外科学 教授
- 中釜 斉 国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
- 中澤 よう子 神奈川県健康医療局 医務監
- 松本 公一 国立研究開発法人国立成育医療研究センター小児がんセンター
センター長
- 森内 みね子 公益社団法人日本看護協会 常任理事

(五十音順・敬称略)